

所属機関長各位

2022年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

このたび2022年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。本年度は本財団創立30周年の記念の年であり、創立以来続けておりますこの研究助成事業も節目の第30回の贈呈となります。つきましてはこれを記念いたしまして、新たな対象領域として「感染危機管理」を設けました。

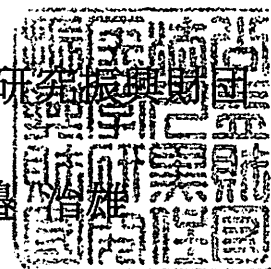
早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたので、お届けいたします。ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、2022年5月31日火曜日(当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛に申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

2022年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
2022年度 第30回 研究助成金募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として50歳以下）を主眼としています(詳細については本財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。)

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- | | | |
|---------|--------------|--------------------|
| ① 臨床化学 | ② 分子生物学 (医学) | ③ 臨床微生物学 |
| ④ 臨床免疫学 | ⑤ 検査血液学 | ⑥ 人体病理学 |
| ⑦ 疫学 注1 | ⑧ 一般・生理学 | ⑨ <u>感染危機管理</u> 注2 |

の9つの領域とします。

注1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

注2：次なるパンデミック対応、バイオリスク管理、施設内感染防止、感染制御、
マスギャザリング対策等

4. 募集期間

2022年3月15日(火)から2022年5月31日(火)までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は、対象領域①～⑧は1件100万円を限度とし、助成件数は15件以上とします。

また、対象領域⑨は1件150万円を限度とし、助成件数は2件ないし3件とします。

6. 応募方法

所定の申請書に記入し、本財団 研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出部数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆申請書は必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページからファイルをダウンロードしてご使用ください(年度毎に改訂されますのでご注意ください)。

URL <http://www.kmf.or.jp/>

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が9つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で研究助成の対象を決定します。その結果は、9月末日に本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

2022年10月28日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈する予定です。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

以下の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究期間は、原則として研究助成金受領後1年間とし、その研究結果について本財団指定様式にて2,000字以内で報告書を作成すること。1年間で終了しない場合は、中間報告として研究・会計報告書を作成すること。

(報告書は年報・本財団ホームページ・研究業績集に掲載させていただきます。)

- ② 会計報告については本財団指定様式にて作成すること。

なお、受贈者が研究結果を発表する口頭発表論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)を必ずしてください。

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できない場合には、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定を取り消し、受領した助成金の返還を求めるとともに、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記

- 所属機関長は、大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であることが必要となります。
- 応募の書類は、一切返却いたしません。
- 贈呈される助成金には、大学等の間接経費(事務処理経費)は含みません。

第 29 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (2021 年度)

参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
あかはね としあき 赤羽 俊章	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍学講座病理学分野 特任研究員	神経膠腫診断用遺伝子パネル検査による分子病理統合診断法の開発	分子生物学
あさか しほ穂 浅香 志穂	信州大学医学部 病態解析診断学教室 医員 医学博士	子宮頸部腺癌の層別化治療に向けた細胞系列特異マーカーによる免疫表現型分類法の確立	人体病理学
いたもち まさえ 板持 雅恵	富山県衛生研究所 ウイルス部 主任研究員 医学博士	新型コロナウイルスワクチン接種後の安全性と誘導された抗体の種々の変異株に対する防御効果	疫学
えんかい しげひろ 遠海 重裕	帝京大学医学部 小児科 助教 医学博士	ガーナ共和国(リッジ病院)における先天性甲状腺機能低下症の新生児マススクリーニング検査による初めてのパイロット研究と医療経済学的効果の検討	疫学
おおた けんじ 太田 賢治	長崎大学病院 検査部 助教	SARS-CoV-2 mRNA ワクチン接種前後の唾液中抗体価の推移について	臨床免疫学
かわくら ゆうじ 柏倉 裕志	自治医科大学医学部 生化学講座病態生化学部門 講師 医学博士	第Ⅷ因子欠乏動物血漿を用いた凝固一段法による汎用性の高い第Ⅷ因子活性測定法の開発	検査血液学
かわすじ ひとし 川筋 仁史	富山大学附属病院 感染症科 特命助教	シュドタイプウイルスを用いた SARS-CoV-2 中和抗体検査法の多検体処理技術の構築	臨床免疫学
さとう ゆうき 佐藤 勇樹	札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 大学院生 附属病院検査部	尿中酵素分圧(U _p O ₂)と偏性嫌気性菌発育の関連性に関する検討	臨床微生物学
しもじま けいこ 下島 圭子	東京女子医科大学医学部 輸血・細胞プロセッシング科 助教 医学博士	染色体逆位重複欠失の発生メカニズム解明と再発リスク評価	分子生物学
たかとり みつよし 高鳥 光徳	琉球大学大学院医学研究科 細胞病理学講座 大学院生	シングルセル由来の微量ゲノム DNA を用いた Ig/TCR クローナリティ検査法の開発	分子生物学
なわた あや 名和田 彩	産業医科大学病院 病理診断科(第一病理学) 講師 医学博士	活動性ループス腎炎における治療標的分子の免疫組織化学的研究	人体病理学
のがみ あやこ 野上 彩子	東京医科歯科大学医学部附属病院 検査部 助教 医学博士	血液腫瘍患者の CAR-T 療法後治療関連骨髄不全症における免疫分子の解明とバイオマーカーの迅速検査法の開発	検査血液学
はやし たくお 林 大久生	順天堂大学医学部 人体病理病態学講座 准教授 医学博士	男性難治性癌における新規治療標的 <i>KDM5D</i> 欠失の検出法開発	分子生物学
はらだ そうへい 原田 壮平	東京大学医学部附属病院 感染制御部 講師 医学博士	臨床分離される <i>Klebsiella variicola</i> の同定方法と遺伝学的特徴に関する研究	臨床微生物学
ばんどう ひろのり 坂東 弘教	神戸大学大学院医学研究科 先進代謝疾患治療開発学 特命助教 医学博士	甲状腺刺激ホルモン(TSH)の測定系のハーモナイゼーションから探る測定系に不安定性を与える因子の解明	臨床化学
ふむろ ともゆき 文室 知之	国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科 講師 医科学博士	入眠後のてんかん性放電の出現潜時:側頭葉てんかん患者の外来脳波記録を用いた検討	一般・生理学
よしだ こうすけ 吉田 幸祐	兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 検査・放射線部 臨床検査技師 保健学博士	血清カリウム値が冷蔵保管で増加する原因 ~ 血球層が「分離剤を超えて」血清層へ混入~	臨床化学
わかえ こうしやう 若江 亨祥	国立感染症研究所 ウイルス第二部 主任研究官 医学博士	SARS-CoV2 の宿主ゲノムへの挿入を考慮した、COVID-19 PCR 検査法の改良	臨床微生物学

総申請者数

201 名

研究助成金総額 1,530 万円(18 名)